

1・1 山形大学が取り組むSDGsの推進

とするSDGsタスクフォースを設置しました。このチームは教員や職員だけではなく学生も入れた構成で、多様な意見を反映できるようにしたのが特徴です。このタスクフォースで最初に議

推進をSDGsの枠組みによりempower!します。

「empower!」をキーワードにして(図1)、具体的な計画を立てて実行しています。

A portrait photograph of Dr. Toshiaki Matsunaga, a man with white hair and glasses, wearing a suit and tie.

SDGs（持続可能な開発目標）とは、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない」ことを誓っています。最近は多くのメディアがとりあげているのでご存じの方も多いのではないでしょうか。

山形大学では、昨年4月に就任した玉手英利学長が、「地域社会の持続的な発展を支える大学」を目指すことを表明し、5月に副学長である私をリーダー

生」の三つの使命を掲げ、人口減少や国際競争の激化など、社会が直面する多くの課題のみならず、人類社会の諸問題を解決するため、様々な教育・研究活動を通じて、社会の持続可能な発展にこれまでも貢献してきました。これらの活動をSDGsの枠組みを最大限に活用して一層加速させることが重要だと考え、その姿勢を「empower!」(エンパワー・力づける、力を与える)とワードで表すことを提唱しました。山形大学は、すべての活動的な発展に向けた地域の取組を積極的にempower!します。

最初に行つたのが学内アンケートです。SDGsのことを学内の構成員がどの程度知っているのか調べて現在の認識度を確認し、半年後に再度アンケートをとつて、その後の活動の成果を検証するのが目的です。2020年7月のアンケート調査の結果、学生が69%、教員が61%、職員が38%と学生の皆さんのSDGs認知度が高く、SDGsに関する学習意欲も非常に高いことがわかります。



図 1. empower

す。シラバスとは教員が学生に示す授業全体の計画書のことです。教員は担当するすべての授業のシラバスを毎年学生に提示することになっており、学生はシラバスを読んで履修科目を決めて準備をすることになっています。シラバスにこの科目がSDGsの17ゴールのうちどのゴール（複数可）と関連があるかを明示することにしました。こうすることで、教員は自分が担当する授業とSDGsとの関係を検討せざるを得ませんし、学生も学習する授業とSDGsとの関係を意識して科目を選択することになります。2021年度のシラバスから早速導入したところ、開講する全4158科目のうち、83%の科

した(図2)。今すぐにスマートフォンなどで検索してこのサイトを見てください。カラフルな遊び心あるデザインが目に飛び込んでくると思います。17のゴールを見たて、関連するゴールを路線でつないでいます。各ゴールの番号がついた駅の-iをクリックすると、各ゴールとそのターゲットの説明を読むことができます。また各ゴール駅のPをクリックすると、そのゴールに関連する山形大学のプロジェクトを見る事ができるようになっています。10月25日現在347のプロジェクトが登録されています。また、掲示板には学内外のイベント等のお知らせが隨時掲載されています。時々覗いてみてください。

した。学生の皆さんにとってSDGsで掲げている目標は、決して他人事ではないと思っているからでしょう。しかし、半数以上は内容まで詳しく理解していないこともわかり、まずは学内の認知度をあげることを目標にしまし

目がSDGsのいずれかの目標に
関連することが明示されました。
現在行っている研究などの
プロジェクトもSDGsのゴー
ルと関連させて整理すれば、
学内情報交換にも使え、
学外にもアピールしやすくな
ります。そこで、SDGs専



図2. YU-SDGs EmpowerStation

このタスク Force を立ち上げたとき、新型コロナ感染の第一波のさなかでしたので、設立から現在まで一度も対面で会議等をしていません。すべてオンラインで

放しています。YU-SDCが
フェス定期的に開催しています。
学外の方も参加できますので、
ぜひ掲示板のイベントを見て参
加してください。

このタスクマネージャーを立ち上げたとき、新型コロナ感染の第一波のさなかでしたので、設立から現在まで一度も対面で会議等をしていません。すべてオンラインです。しかも、Slackというビジネス用のメッセージングアプリを使って議論を重ねました。自分の通常の仕事や学習の時間が空いたと

施しています。YU-SLCが
フェス定期的に開催しています。
学外の方も参加できますので、
ぜひ掲示板のイベントを見て参
加してください。

生の皆さんのが活動を支援します。さらに、SDGsの達成に貢献する優れた教育・研究・学生活動・大学運営等を行っていける個人・団体を表彰するとともに、今後の活躍が期待できる活動を支援するYU-SDGsアワードを設けて現在募集中です。



図3. やまがたSDGs推進ネットワーク